

目黒会北海道支部 平成30年度支部総会

日時、会場 平成30年9月29日(土) 16時より 札幌第一ホテル

参加者 倉田健治(H6N)、酒井裕司(S53P)、加賀谷隆(H6F)、菅谷延明(H2C)、吉井透(S58I)
浜中直人(H3C)、梅澤英行(S51B)、藤川朋大(H28J)、本庄良哉(S61R)

懇親会より参加：関哲人(H15IS)

来賓 電通大 福田喬 学長

目黒会 野々村欽造 会長、竹内進 副会長、今井高介 国内支部委員会副委員長

総会議事

平成29年度 北海道支部活動報告

平成29年度 支部収支報告

平成30年度 活動予定、予算案報告

100周年記念ホームカミングデー参加について経緯など報告

いずれも拍手にて承認

支部役員改選(議案)

平成24年7月より役員10名(任期2年)の体制となっており、本年が改選年。昨年、宮本前支部長の転居にともない、支部長はじめ役員を改選しているため今回は全員の再任を提案。拍手にて承認された。(別紙 役員名簿を参照)

支部代表代議員改選(報告)

来春からの代議員選出前に、支部代表代議員を選出するよう本部より要請があった。昨年、支部役員の改選とともに支部代表代議員も改選していることから、役員会に「再任」を提案し、承認された。 →→ 支部代表代議員 本庄良哉(支部長)

支部ホームページの運営について(議案)

北海道支部開設当初より独自のホームページを開設運営し、情報提供、会員交流の場、とりわけ笹井先輩による「トンツー談義」の連載の場となってきました。

2016年秋に目黒会本部ホームページのリニューアルにより支部ページも開設され、北海道支部としては二つのホームページが存在している。しかしながら現状ふたつのサイトを活用できておらず、費用も掛かっているため、本部サイト内の支部ページに一本化し北海道支部独自のサイトを閉鎖したい。(なお、これまで独自サイトに寄せられた書き込み等の保存については今後の検討課題としたい) →→ 拍手にて承認

来賓あいさつ(講演)

福田 喬 電通大学長

100周年を迎えた。100周年メッセージとして「ひらけ、INNOVATION!」を掲げ更なる100年の発展を目指し様々な取り組みを進めている。

2016年に研究教育体制を刷新し、「総合コミュニケーション科学」の実践の場として、しっかりした基礎教育と選択自由度の高い専門教育を供する先進的体制を推進している。

入学志願者、および入学者の偏差値は増加、上昇の傾向にあり、この新しい体制が認知されてきていると感じる。

また、研究力をさらに高める施策として「D.C.&I.戦略」を打ち出し、研究プロジェクトを組織し牽引していく役割を担う「研究統括者(研究インテグレーター:RIer)」の育成・確保を進めている。

昨春オープンした100周年キャンパス UEC Port の共同研究施設「UEC アライアンスセンター」は、多くの企業の入居を得て、少しずつではあるが成果が出てきている。

ひきつづき活発な「協働・共創の場」として盛り上げてゆきたい。

西東京三大学(電通大、農工大、東外大)連携による、文理協働の「共同サステナビリティ研究専攻」(博士課程)が、2019年4月より開設される。

三大学それぞれの独自性・独立性を保ちつつ、相互協力であたらしい分野・研究を切り開き、グローバルな環境下で社会を牽引することのできるイノベティブ博士人材を育成していきたい。

また、優秀な人材（学生）確保のため、ひきつづき給付型奨学金の一層の充実を目指している。その基盤となる UEC 基金への協力を切にお願いしたい。

野々村欽造 目黒会会長挨拶

同窓会はひきつづき「役立つ」ことに注目していく。目黒会として支部での活動だけでなくグループ支援などで会員活動の輪を広げる方策を展開している。また地域への貢献として種々の活動を継続している。もちろん在学生への支援も重要。皆さんの人生において大学時代は貴重な経験ができた有益な時間のはず、そのことへの感謝の気持ちを示し UEC 基金への協力をお願いしたい。

活動報告 創立100周年記念ホームカミングデーに参加して

藤川朋大(H28J) 調布には毎年学祭の時期に訪れているため、マチの変化に驚きはしなかったものの在学中に「トリエ」が存在していれば、もっと便利な大学生活が送れたらうに・・・と思います。

目黒会の催しに参加した感想としては、皆さん非常に元気ではありますが、若い人が少ないということ。各支部とも会員の確保に苦心しており、四国支部では支部長のご主人が積極的にイベント参加されていた。

北海道支部は若い世代が多いので、これからも積極的に活動に参加したいと考えています

補足 トリエ：調布駅再開発で建てられた3棟からなるショッピングセンター。スーパー、専門店、ビックカメラ、映画館などがある

倉田健治(H 6N) 卒業以来はじめて調布訪問。調布駅が地下になっていることにまず驚き、再開発で大変身した駅前広場で京王電鉄の「街づくり力」に敬服しました。加えて「電通大通り」で時の流れを痛感。他方で在学時住んでいた住宅地で一本裏道にはいると、当時と変わらない風景、人の温かみを感じられる良い雰囲気なのがこっており、調布のよいところだと再認識しました。学内も本館や正面の庭、そばの掲示板などには昔と変わらない懐かしさを覚えました。その奥には新しい建物が密に建っており、新しい時代になっていると感じました。なにより女子学生の数が多く今の（男子）学生がうらやましい(笑)

特別講演 倉田さんより、先の胆振東部地震での停電について技術的解説をいただいた。

懇親会

総会後18時30分より懇親会。胆振東部地震にかかる体験談、苦労話、防災の備えは・・・などこれまでの集まりとは一味ちがう話題で大いに盛り上がりました。途中、関さんも合流され時間いっぱいまで活発な情報交換と、笑い声が響きました。好例となっている「一言挨拶」も忘れてしまうほどでした（幹事のミスですが・・・）。

また、二次会にも10名が参加、くだけた話題もでて懇親を深められました。

総会議事終了後に記念撮影
(懇親会より参加の関さんは到着前)

